



杏葉紋

# 北っ子

学校だより 第10号  
令和5年 10月16日  
みやき町立北茂安小学校  
校長 長野 篤志



## 3年生 リコーダー講習会

10月3日(火)に、3年生対象のリコーダー講習会が開かれました。小学校では、3年生から、リコーダーの演奏をしています。低学年では、鍵盤ハーモニカでしたが、どちらも息を吹きながら、指で音階を押さえています。

各クラスで練習を始めていますが、プロの奏者から、「タンギングに気を付ける」「指使いに気を付ける」「息使いに気を付ける」の3点について、分かりやすく指導を受けていました。また、子どもたちが使うリコーダー以外の大きささまざまなリコーダーの演奏を聞くことで、楽器の大きさと音の質の違いを感じていました。知っている曲が流れると、思わず歌詞を口ずさむ子もいて、素敵な講習会となりました。



リコーダーの音色に聴き入る3年生

## 5年生 大学連携事業

10月11日(水)、福岡大学とみやき町教育連携事業が行われ、本校では、5年生が各教室でオンラインによる講話を聞きました。「命を救う仕事の魅力」というテーマで、福岡大学病院の星野先生から「『苦しかった…』～コロナと闘った医師の軌跡～」について学びました。

星野先生は、2020年の新型コロナウイルス感染拡大の初期から、最前線で治療に関わっておられ、ECMO(人工肺とポンプを用いた体外循環による治療)を使ってたくさんの命を救ってこられました。

実際のICUの中の様子(動画)や、ECMOの仕組み(図説)等もあり、詳しく教えていただきました。医学に関する事で、少し難しい内容もありましたが、星野先生が言われ

た「コロナ感染された患者さんと、最初に治療に関わったときの怖さ」について、私も子どもたちも聞き入ってしまいました。医療従事者として、自分も感染したらという怖さ、家族と会えなくなるかもしれないという怖さ…。でも、こういうことを乗り越えて、今、誇りをもって、命を救う仕事の魅力を語ることができると話されました。

北茂安中学校の2年生は、メディカルセンターでこの講演会に参加しました。町内の数校の小学校もオンラインで参加しています。星野先生からの「人の痛みが分かる」「コミュニケーションが取れる」そういう人になってほしいというメッセージが、多くの子どもたちに送られました。



しっかり講話を聞いている5年生

## 体育大会に向けて

体育大会まで、あと少しとなりました。学校では、10月3日(火)の結団式から、練習が始まりました。5日からは、朝の時間は応援練習となり、12日からは、運動場で練習を始めました。

青・赤・黄に分かれて、応援合戦をしっかり磨き上げている姿が、とても頼もしいです。6年生を中心に、全校を引っ張り盛り上げている体育大会です。きっと素晴らしい体育大会になることと期待しています。

今年度から、入場制限は設けていません。地域の方にも足を運んでいただき、子どもたちの活躍する姿を見ていただければと思います。



各組の応援練習 しっかり声が出ています！